

2025年12月23日作成 Ver.1.0

《情報公開文書》

造影 CT における小腸 angiodysplasia 様血管拡張の検出頻度と、貧血および臨床因子との関連に関する後方視的研究

研究の概要

【背景】

高齢の患者さんでは、はっきりした原因がわからないまま貧血が続くことが少なくありません。その原因の一つとして、小腸の粘膜下にある血管が広がり、少量の出血を繰り返す「小腸 angiodysplasia」と呼ばれる状態が知られています。また、大動脈弁狭窄症のある方では、この血管の異常が起こりやすいことも報告されています。当院では、冠動脈 CT のあとに同じ造影剤で胸から骨盤までの CT を撮影する診療が日常的に行われており、この画像には小腸の血管も鮮明に写っています。しかし、こうした CT で angiodysplasia に似た血管の拡張がどれくらい見つかるのか、またそれが貧血とどの程度関係しているのかについては、まだ十分にわかっていません。

【目的】

本研究は、冠動脈 CT のあとに体幹部の造影 CT を受けられた患者さんの画像と、診療のために行われた血液検査の結果を用いて、小腸の血管の異常がどの程度みられるのか、またそれが貧血とどのように関係しているのかを調べることを目的としています。

【意義】

この研究により、通常の CT 検査でも小腸の血管の異常がある程度評価できる可能性が明らかになれば、貧血の原因を早期に推測する手がかりになり、診療の質の向上につながることを期待されます。高齢者では消化管の出血が目に見えない形で起こっていることが多く、その兆候を日常診療で撮影する CT から拾い上げられるようになれば、有益な情報を非侵襲的に得ることができる可能性があります。

【方法】

本研究では、すでに診療目的で撮影された CT 画像を詳細に見直し、小腸の粘膜や粘膜下の血管にどのような変化が見られるかを二人の放射線科医が独立に評価します。そのうえで血液検査の結果や大動脈弁狭窄症の有無と比較し、小腸の血管の変化が貧血や患者さんの背景とどのように関連しているのかを統計的に解析します。なお、研究に使用する情報はすべて匿名化し、氏名など個人が特定できる内容は含まれません。また、この研究のために患者さんへ新たな検査や来院をお願いすることはありません。

対象となる患者さん

2023年1月1日から2025年9月31日の間に、冠動脈造影 CT から連続して胸部腹部の CT を撮影した方を対象とします。

研究に用いる情報	
<p>●研究に用いる情報</p> <p>下記の情報を診療録より収集します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・患者背景：年齢、性別、基礎疾患 ・画像検査：CT画像 ・血液検査：治療前のもの <p>本研究で利用する情報等について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。</p>	
情報の利用開始予定日	
<p>本研究は2026年2月5日より「研究に用いる情報」を利用する予定です。</p> <p>あなたの情報をこの研究に使われたくない方は下記の「問い合わせ先」までご連絡頂ければ対象者から外します。その場合もあなたの治療等に不利益になることはありません。</p> <p>ご連絡のタイミングによっては対象者から外せない場合もあります。</p> <p>あらかじめご了承ください。</p>	
研究実施期間	
<p>研究機関長の許可日～2029年3月31日</p>	
研究実施体制	
<p>研究責任者</p>	<p>所属：長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 放射線診断治療学</p> <p>氏名：石丸 英樹</p> <p>住所：長崎県 長崎市 坂本 1-7-1</p> <p>電話：095 (819) 7354</p>
<p>情報の管理責任者</p>	<p>長崎大学病院 病院長</p>
問い合わせ先	
<p>【研究の内容、情報等の利用停止の申し出について】</p> <p>長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 放射線診断治療学 石丸 英樹</p> <p>〒852-8501 長崎市坂本 1丁目7番1号</p> <p>電話：095 (819) 7354 FAX 095 (819) 7357</p>	
<p>【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）</p> <p>苦情相談窓口：医療相談室 095 (819) 7200</p> <p>受付時間：月～金 8：30～17：00（祝・祭日を除く）</p>	

